

構成要素から G T 書体フォント漢字を検索

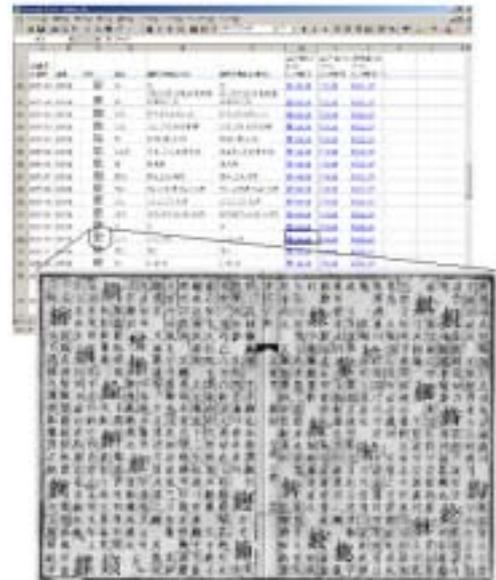


ことになり、今後は提供データの追加と改良が研究プロジェクトの社会的責務となる。

著作物

山口明穂(監修)『新撰漢字総覧』(小学館、2000年)
『19世紀ラールス辞典』DVD-ROM(システムソフト、2001年)
『康熙字典』CD-ROM(パーソナルメディア、2001年)

G T 書体漢字による『康熙字典』画像の検索



ラールス『19世紀世界大辞典』(画像)



2.2 多国語テキスト・データベース

この基盤の上に立った多国語テキスト・データベースとして、先ずローマン・アルファベット表記ではあるが約2万4千頁と膨大なラールス『19世紀世界大辞典』を対象にして、軽快な文字データ(430MB)と画像データ(70GB)をリンクさせ迅速にデータベースを構築する技法を開発した。次いで、この技法を『康熙字典』に適用し、「G T 書体2000」フォントの漢字を検索に用いる『康熙字典』画像文字連携テキスト・データベースを構築した。後者のデータベースは、逆に「G T 書体2000」フォントのための漢字データとしても機能することになる。

3. 結論

フォントと画像文字連携データベースの公開により基盤整備の当初の目標は果たされた